



「とやま県産材需給情報センター」における  
森づくりと建築需要をつなぐ  
サプライチェーンコーディネート



富山県南砺市  
チュモク株式会社

上田 純和  
Kanda Yoshikazu

# 自己紹介

## ◆上田 純和

Kanda Yoshikazu

- ・1993年(H05) 中越木材(株)(現チューモク)入社  
製材部(現\_木材製品部)配属

工場勤務 : 配達、原木製材、小割製材

モルダー、超仕上、乾燥機、木材仕入

- ・2007年(H19) プレカット事業部 異動

営業課長 : 住宅資材営業

- ・2012年(H24) 木材製品部 異動

部門長 : 部門統括

県産材利用の非住宅部材営業  
仕入業務

木材乾燥士 富山県産材アドバイザー  
取締役木材製品部長



## ◆チューモク株式会社

- ・1947年(S47) 中越木材産業株式会社設立
- ・1997年(H08) チューモク株式会社に改称

### ■事業部門 (令和5年現在)

- ・木材製品部
- ・外材部
- ・チップセンター
- ・建築事業部
- ・ゴルフセンター
- ・経営管理部
- ・プレカット事業部
- ・山林建設工事部
- ・バークケミカル部
- ・石油部
- ・総務部

従業員 約130名  
木材の川上から川下までのプロ集団



# 富山県の木材事情



## 北洋材の国として繁栄

国産材製材の整備、流通、  
技術が未発達

持ち家率日本一

木材の消費大国

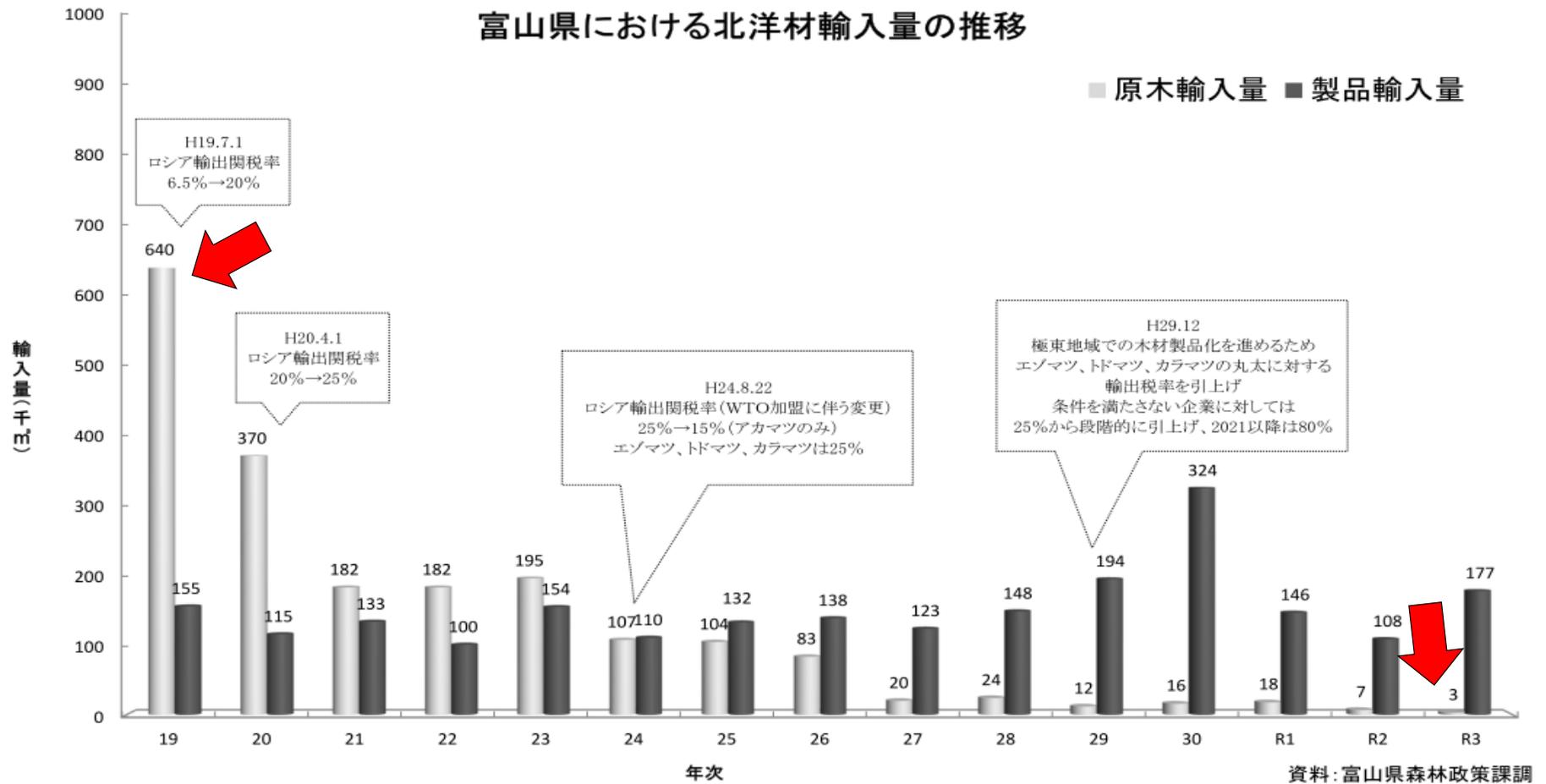
県産材の品質、価格の  
競争力不足

木材自給率が小さい

県産材が使われない

# 富山県の木材事情

## 富山県における北洋材輸入量の推移



H19.7.1  
ロシア輸出関税率  
6.5%→20%

H20.4.1  
ロシア輸出関税率  
20%→25%

H24.8.22  
ロシア輸出関税率(WTO加盟に伴う変更)  
25%→15%(アカマツのみ)  
エゾマツ、トドマツ、カラマツは25%

H29.12  
極東地域での木材製品化を進めるため  
エゾマツ、トドマツ、カラマツの丸太に対する  
輸出税率を引上げ  
条件を満たさない企業に対しては  
25%から段階的に引上げ、2021以降は80%

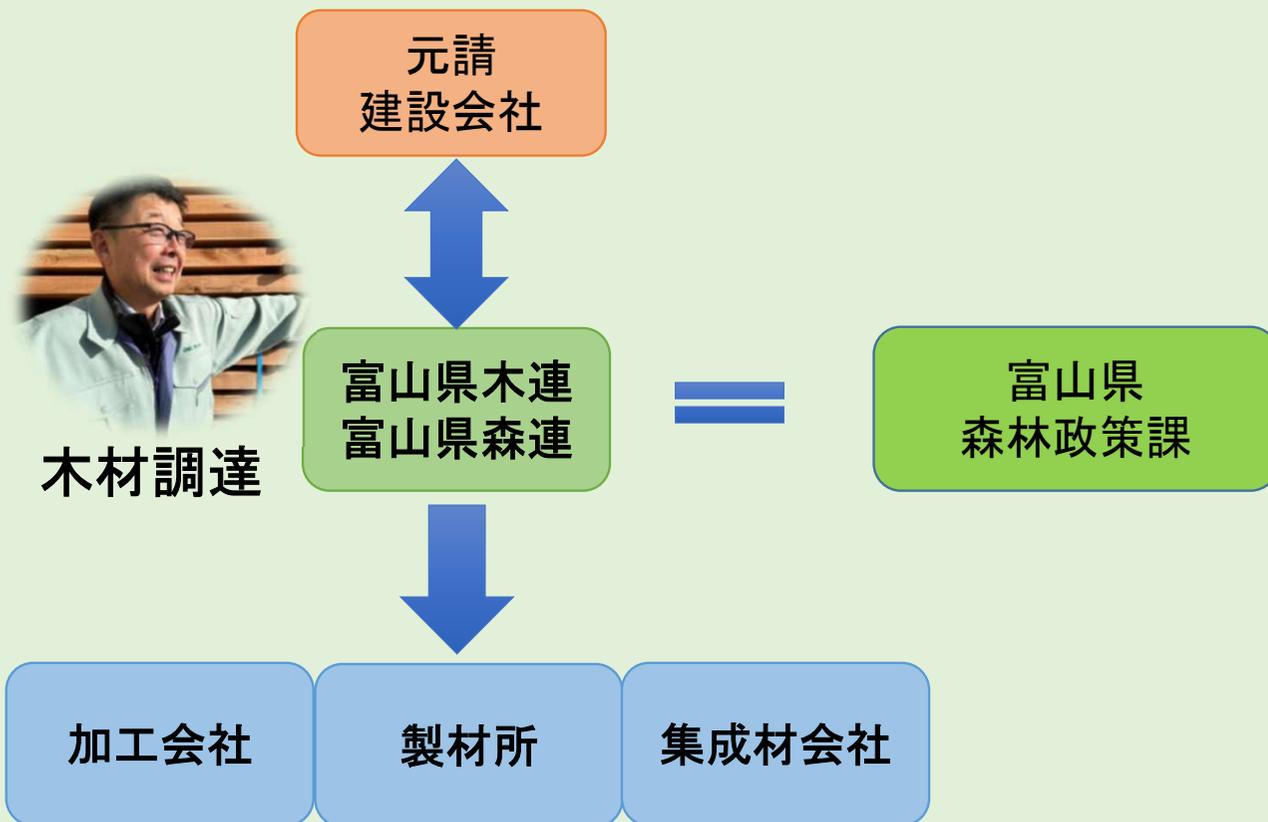
# 富山県の木材供給体制の転機



県産無垢材を使ったお野立所



県産集成材を使った来賓者席



## 県内製材所の協力体制のスタート

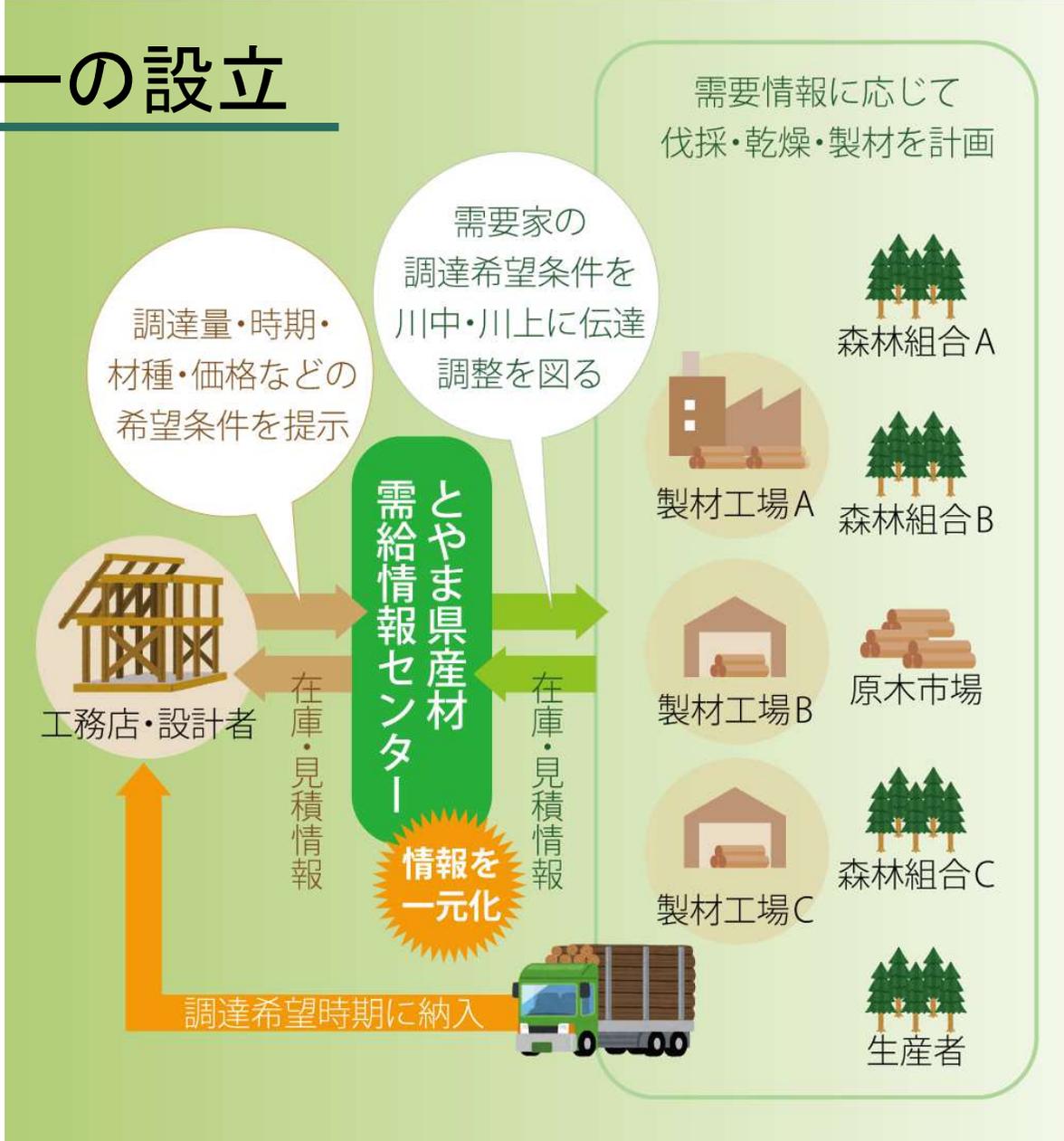
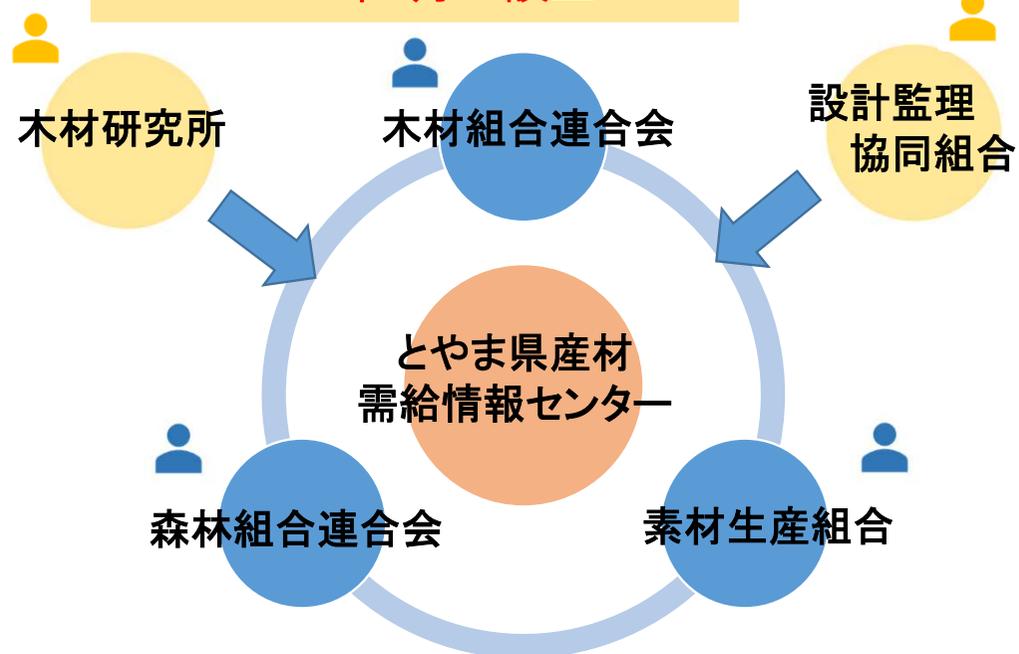
# 富山県産材の流通における問題と課題

- ① 県内の建設業界において、富山県の杉は、悪い、弱い、高いというイメージが根強く残っている。よって使われない。使っていないから、使い方がわからない。
- ② 北洋材の国として繁栄していた為、県産材製材の整備、流通、技術が未発達。製材に従事する側も農林規格に準ずるような品質や、合法性に対する意識が小さい。
- ③ 木材の生産地と比べ、立木の品質がよくない上に、使い方、使われ方がわからない闇雲な造材が行われている。

# とやま県産材需給情報センターの設立



2018年4月 設立



# 需給情報センターの活動事例

## 富山県立大学学生会館 木造2階建

- ・建築面積 670m<sup>2</sup>
- ・木材総使用量 252m<sup>3</sup>
- ・内県産集成材使用量 95m<sup>3</sup>
- ・内県産CLT使用量 36m<sup>3</sup>
- ・内県産無垢材使用量 72m<sup>3</sup>
- ・内県産合板使用量 3m<sup>3</sup>



## ◎事前協議内容

県産材で調達し易い素材、寸法をすり合わせ  
原木の流通状況、製材所の協力体制を確認



	2017年		2018年											
	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
工程	基本設計		実施設計				入札						建方	
活動	① 打合せ		設計見積協力	② 打合せ	原木流通状況確認	納材体制確認	③ 打合せ	④ 打合せ	ラミナ発注	製材品発注		造作材発注		
ラミナ								製材	乾燥	集成材・CLT	加工			
製材品									製材	乾燥				
造作材												製材	乾燥	加工

# チューモクの建築事例

県産材『南砺の木』を活用して、  
南砺市に木造倉庫をつくろう！



伐採地検品



自社製材



目視JAS検査



建方



完成

2019年	5月		6月		7月		8月					
伐採	南砺市川西 主伐 平成31年4月～令和元年7月											
集成梁	建設計画決定	県産材情報収集	集荷・製造計画	共販所競り	ラミナ製材	乾燥	製造	加工	トラス組	建方	足場解体	完成
無垢梁		樹種・寸法決定	確認申請	PC図面作成	伐採地検品	JAS事業申請	乾燥	目視JAS検査	南砺市事業申請	PC加工		

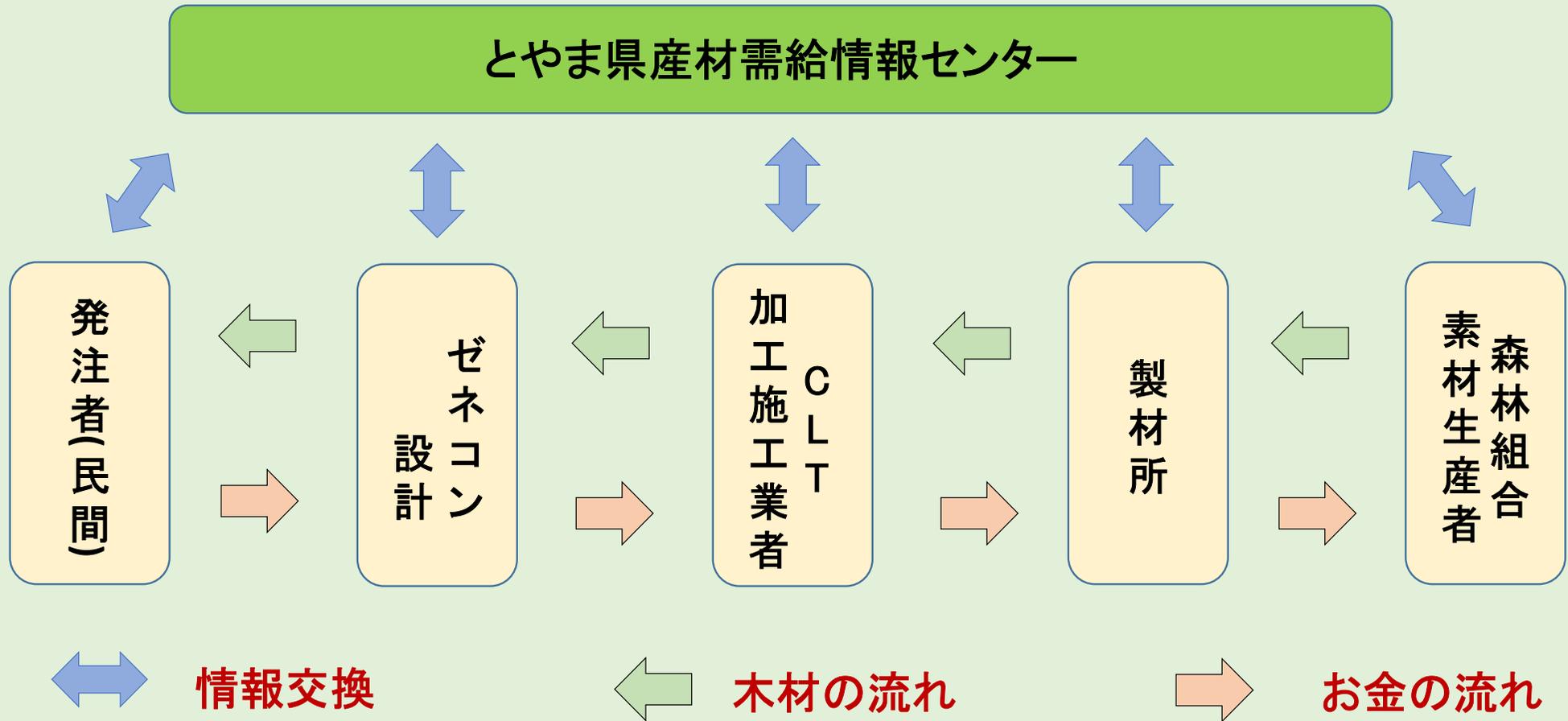
# 需給情報センターの活動事例

## 富山市八尾地域統合中学校





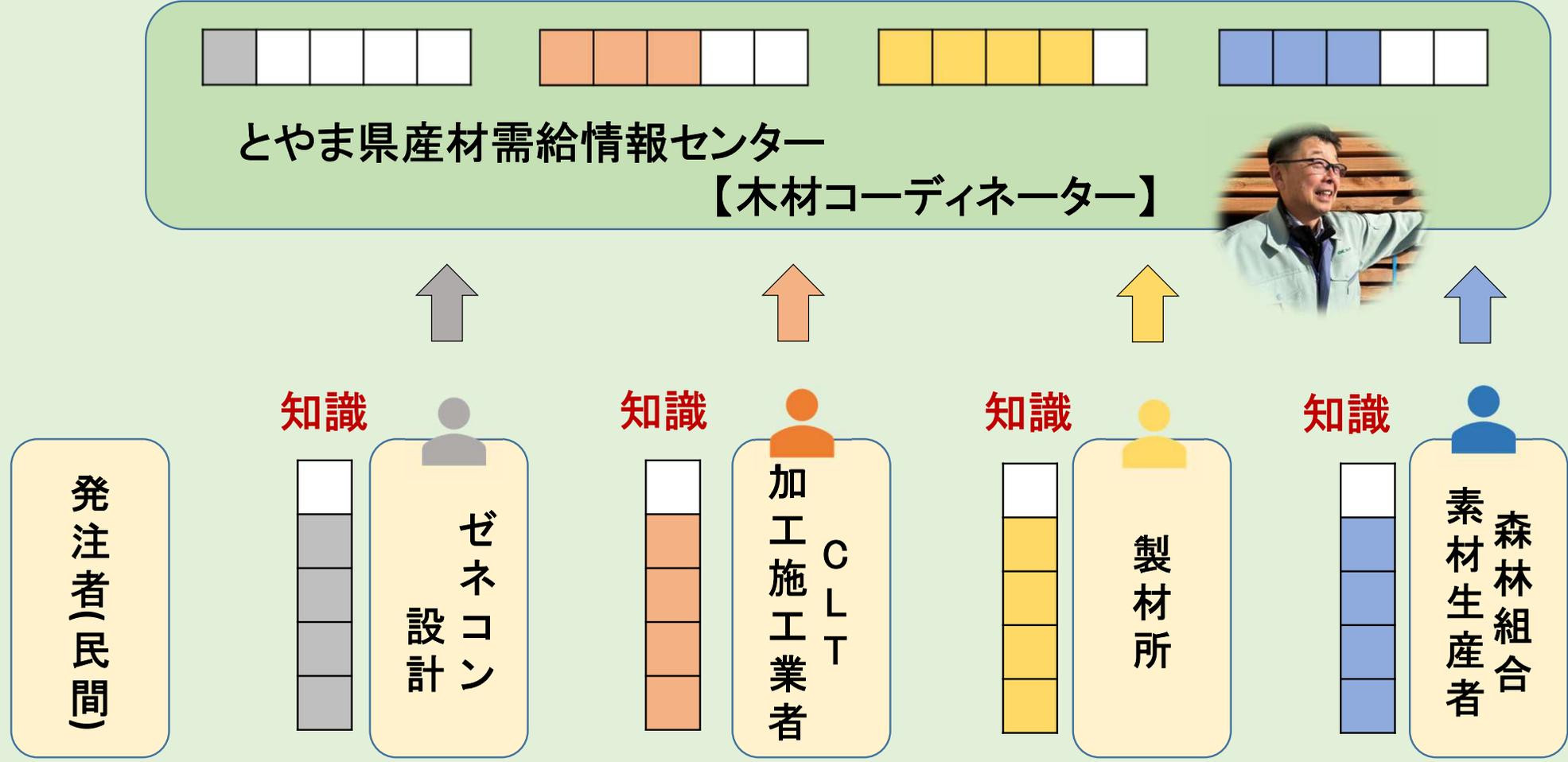
# 需給情報センターの活動事例





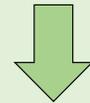
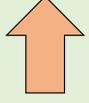
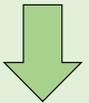
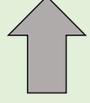
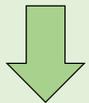
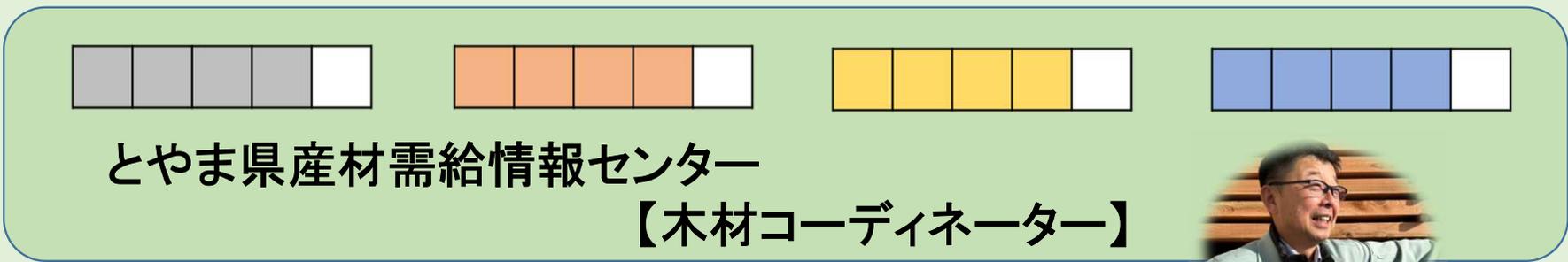
# コーディネートのイメージ

情報・知識を吸い上げる

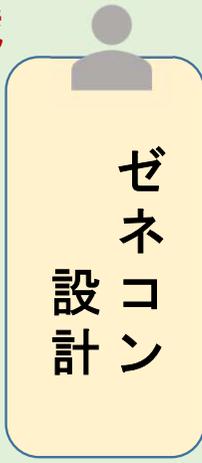
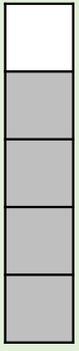


# コーディネートのイメージ

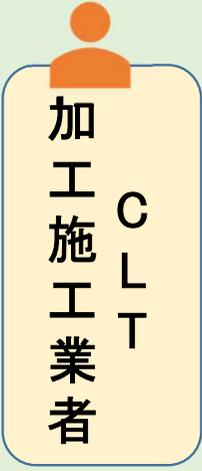
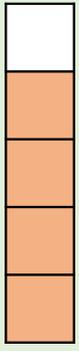
おとしどころ を決める



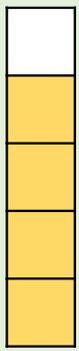
知識



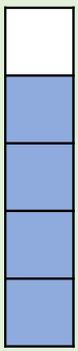
知識



知識

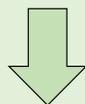


知識



# 富山県産材の流通における問題と課題

富山県の杉は、悪い、弱い、高い。  
使われない。使っていないから、使い方がわからない。



使われるから設備投資 → 品質があがる

県産材利用目標量 (単位：千m<sup>3</sup>)

用途	平成28年 【計画前】	令和2年 【現状】	令和8年 【目標】	増加量 (率)
製材用材 (A材)	28	43	51	8 (119%)
合板用材 (B材)	15	22	25	3 (114%)
チップ用材 (C、D材)	54	63	69	6 (110%)
計	97	128	145	17 (113%)

### 木の香るとやまの街づくり事業

県民の方が広く利用する施設の木造化や内装木質化への  
県産材使用に対し、その経費の一部を助成します！

**補助対象施設**

- 公共施設 (学校、社会福祉施設、保育所、病院、図書館、待合所等)
- 不特定多数の方が利用する民間施設 (居住・事務スペース等は除きます)

**補助対象・補助率**

- 構造材：県産材 1 m<sup>3</sup>あたり 1 万円
- 造作材：県産材 1 m<sup>2</sup>あたり 5 千円
- 備品：導入にかかる経費の 1/2 以内

**補助金額の上限**

- 新築・改修等の場合：1施設あたり 200万円まで
- 備品のみを導入する場合：1施設あたり 100万円まで

**募集期間**

先着順で募集します。

遊具も補助対象に含まれます！

木材自給率があがる  
県産材が使われる

# 木材の価値を生み出し 使い続ける



100年企業を目指します

チューモク株式会社 上田 純和